

2019（平成31・令和1）年度 学校法人池坊学園 決算概要

■資金収支計算書

収入の部合計	1, 293, 448千円
当年度収入合計	643, 346千円 ①
前年度繰越支払資金	650, 102千円
支出の部合計	1, 293, 448千円
当年度支出合計	711, 064千円 ②
次年度繰越支払資金	582, 384千円

当年度の繰越額は、前年度より67, 718千円(②-①)減少して資金支出超過となった。

■資金収支差額

(千円)

	年度	2018 (H30)	2019 (H31・R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
資金収支 差額	経営改善 計画	△53,087	△51,657	△39,939	31,994	33,805
	補正 予算額	△67,305	△70,530	1,060		
	決算額	△42,612	<u>△67,718</u>			

※収入においては前受金収入、支出においては人件費に退職金財団交付超過分が掛金として、また借入金の返済等が含まれます。

○資金収支計算書<収入の部>

当年度収入合計（前年度繰越支払資金を除く）

補正予算 665, 187千円

決算 643, 346千円 補正予算に比し21, 841千円の収入減

<補正予算に比して減少の主な内訳>

- * 雑収入 施設利用料収入 1, 669千円
→新型コロナウイルスにより2月頃から施設のキャンセルが相次ぎ、貸し出し件数が減少したことにより減額
- * 前受金収入 学生納付金関係等 9, 173千円
→入学生においては、補正予算の予測人数であったが、入学金の免除、授業料の減免などにより補正予算より減額
- * 資金収入調整勘定 期末未収入金 11, 361千円
→例年より未収入金が増額（むろまち会賃料 940万、ブロック塀補助金 150万）

○資金収支計算書<支出の部>

補正予算 735, 717千円

決算 711, 064千円 補正予算に比し24, 653千円の支出減

<補正予算に比して増加の主な内訳>

- * 人件費支出
 - 教員人件費 2, 383千円
 - 職員人件費 1, 927千円
 →補正予算後の新規採用などにより補正予算より増加。

<補正予算に比して減少の主な内訳>

* 教育研究経費支出	8, 076千円
→新型コロナウイルスのため卒業式・パーティ中止、実習費	
* 管理経費	3, 638千円
→広告宣伝費	
* 施設関係支出	2, 211千円
→勘定科目の変更(北側ブロック塀工事)	
* 予備費未使用	10, 000千円

■活動区分資金収支計算書

教育活動資金収支	収入の部	633, 588千円
	支出の部	631, 929千円
	調整勘定等	8, 177千円
(※) 教育活動資金収支差額		9, 836千円①

施設整備等資金収支	収入の部	1, 513千円
	支出の部	23, 539千円
	調整勘定等	△1, 513千円
施設整備等資金収支差額		△23, 539千円②

その他活動資金収支	収入の部	6, 361千円
	支出の部	60, 376千円
	調整勘定等	0千円
その他活動資金収支差額		△54, 014千円③

支払資金の増減額 $\Delta 97, 717$ 千円 (①+②+③)

(※)「経営判断指標に基づく経営状態の区分」で重要となる教育活動資金収支差額は9, 836千円となった。
これにより、3ヵ年のうち黒字が2ヶ年続いたことになり、イエローゾーンであるC2からの脱却となる。

■教育活動資金収支差額 (千円)

	年度	2018 (H30)	2019 (H31・R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
教育活動 資金収支 差額	経営改善 計画	3,736	58,858	82,126	109,865	109,865
	補正 予算額	2,037	19,057	54,398		
	決算額	16,800	<u>9,836</u>			

※収入においては前受金収入、支出においては人件費に退職金財団交付超過分が掛金として含まれます。ただし借入金の返済等は含まれません。

■事業活動収支計算書

○事業活動収支差額

教育活動収支	収入の部	659, 156千円
	支出の部	739, 782千円
教育活動収支差額		△80, 625千円

教育活動外収支	収入の部	68千円
	支出の部	1, 007千円
教育活動外収支差額		△939千円

特別収支	収入の部	1, 561千円
	支出の部	2, 062千円
	特別収支差額	△501千円

基本金組入額	0千円
基本金取崩額	4, 787千円
当年度収支差額	△82, 066千円

※教育活動収支 支出の部 のうち、減価償却費は107, 853千円である。

○収支差額

補正予算	△122, 906千円
決算	△82, 066千円
差額	△40, 839千円

補正予算より40, 839千円赤字が減少した。
 要因として、資金収支でも述べたように収入の部にて2, 405千円補正予算より減少し、また支出の部にて8, 152千円が補正予算より減少したことが大きい。
 また予備費10, 000千円が未使用であったことも要因の一つである。

■事業活動収支における教育活動収支差額 (千円)

	年度	2018 (H30)	2019 (H31・ R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
教育活動 収支差額	経営改善 計画	△124,834	△75,600	△32,121	△112,437	△13,842
	補正 予算額	△84,807	△86,373	△61,288		
	決算額	△69,434	<u>△80,625</u>			

※収入において前受金収入は含まれません。支出においては人件費に退職金財団交付超過分が掛金として、また減価償却額が含まれます。ただし借入金の返済等は含まれません。

■貸借対照表

○資産の部

前年度末	6, 294, 852千円
本年度末	6, 150, 923千円
差引 減少額	143, 929千円

固定資産の減少	86, 177千円
流動資産の減少	57, 751千円

※固定資産の減少は、本年度は除却物件が多かったための減少が大きく、流動資産の減少は、現金預金の減少が主な要因である。

○負債の部

前年度末	574, 353千円(前受金を含む)
本年度末	512, 490千円(前受金を含む)
差引 減少額	61, 862千円

※負債の減少は長期借入金および退職給与引当金の減少が主な要因である。

○基本金の部、事業活動収支差額の部

第1号基本金は4, 787千円の基本金取り崩しにより9, 496, 553千円となった。
 翌年度繰越収支差額は77, 278千円増加して△3, 908, 120千円となった。

【第1号基本金とは】

学校法人が設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるもの又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の価額。

【第4号基本金とは】

恒常的に保持すべき資金。(おおよそひと月分の運転資金に相当する額)

以上